

## 令和5年度人流データを活用した不動産分野等の課題解決実証業務中間報告会

人流データは、行政においてその有用性は認識されているものの、利活用は十分に進んでおらず、まだ一部の自治体での活用にとどまっているところであり、地域課題解決に至る知見は多くありません。

そこで国土交通省では、人流データの流通を促進し行政での利活用促進をはかるため、本年度において、土地の有効活用や地域の価値向上などの不動産分野等を対象とし、人流データを活用した地域課題解決に取り組む実証事業を全国3地域で行っています。この度、その中間報告会を下記の要領で開催しますので、是非ともご参加ください。

■日時 :2023年11月27日(月) 13:00~15:00

■開催方式:オンライン (Microsoft teams)

■参加対象:地方自治体職員 ほか

■参加費 :無料 事前申込制 ※下記申込みメールアドレス宛に所属自治体、部署、お名前をご送付ください。後日、Web会議URLを送付いたします。

■申込みメールアドレス : hqt-mlit-pfvtool@gxb.mlit.go.jp

## ■プログラム

13:00	開会
13:02	挨拶 人流データを活用した不動産分野等の課題解決実証事業の概要
13:15	本事業で活用する人流データの説明
13:20	実証地域における取り組みの中間報告 ・さいたま市(浦和美園駅周辺)「地域ニーズをとらえた商業地域形成」 ・東村山市「駅周辺再整備に合わせた公共施設・公共空間の最適化」 ・鳥取市「中心市街地活性化に向けた空き店舗・遊休不動産活用」
14:05	有識者からのコメント及びデータ活用の取組紹介  ・法政大学デザイン工学部教授 今井 龍一 氏 関西大学大学院修了。博士(工学) 東京大学。日本工営株式会社、国土交通省、東京都市大学を経て現在、法政大学デザイン工学部教授。専門は土木情報学、都市交通、空間情報科学。産官学の組織横断的に多くの関係者と緊密に連携し、国土空間・都市活動の計測・分析等の理論的・実証的な活動に注力。2016年度・2020年度文部科学大臣表彰科学技術賞「科学技術振興部門」、2019年度・2020年度 国土交通省i-Construction大賞優秀賞。2022年内閣府日本オープンイノベーション大賞総務大臣賞、2022年 情報処理学会業績賞、2022年 土木学会土木情報学論文賞等、受賞多数。  ・国際大学 主幹研究員/准教授 櫻井 美穂子 氏 ノルウェーにあるアグデル大学の情報システム学科准教授を経て2018年より現職。専門は経営情報システム。自治体や地域コミュニティ、企業におけるデジタル活用について、レジリエンスやサステナビリティをキーワードに研究を行っている。近著『ソシオテクニカル経営：人に優しいDXを目指して』(日本経済新聞出版、2022年)、『世界のSDGs都市戦略：デジタル活用による価値創造』(学芸出版社、2021年)、など。
14:45	国土交通省の人流事業等の紹介
15:00	閉会